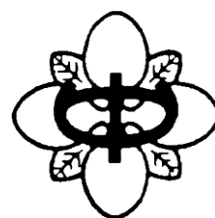


第5号

学校だより



西東京市立田無第四中学校

令和7年7月14日

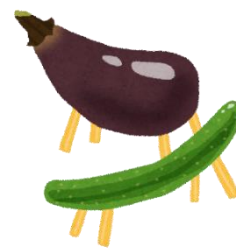
夏休み

副校長

異常気象が叫ばれてかなりの年月が経つ。梅雨入りや梅雨明けの時期も発表はあるものの、以前のようにはっきりとは分かりづらく、今年も関東の梅雨入りは6月10日であったが梅雨明けは定まっていない。ここ数日のような連日シトシトと雨天が続く少し肌寒いような梅雨は少なく、30度以上になる日が多い。また、近年の夏の暑さは正に異常ともいえる。かつて温帯と言われたが今は亜熱帯に近いそう。気温も40度と言えば砂漠をイメージしたものだが、それに近い温度が毎年記録されている。建築物、特に高層化に伴う鉄筋コンクリート造、アスファルト道路の普及、冷房設備の室外機による熱排出の影響、世界的な規模で見ればCo2の増加など、様々な要因らしい。夏と言えば子供たちは昆虫採集に夢中で、セミやクワガタ、カブトムシやトンボなどをよく採った。クワガタやカブトムシ、トンボなどはあまり見かけなくなった。日中にセミが鳴くのは当たり前で、夕方からヒグラシが鳴き始め、日が落ちる頃により静かに、暑さも和らぎはじめたものだが、今は夜でもセミが鳴く声が聞こえる。夜中、セミが鳴き止まないことに初めて気付いたときは本当に驚き、不気味な思いがした。

小学校1年生の夏休みのお昼ごろ、家の近くの通学路に子供が倒れているのが発見され、中学校の教員をしていた叔母が小学校へ知らせに行った。しばらくすると救急隊が駆け付け救急車で運ばれていった。その後分かったのは、近所の小学2年生の男の子で、父もよく知っている家の子だった。病院ですでに亡くなっていることが確認されたそうである。原因は日射病（にっしやびょう）、今で言うところの熱中症であった。父も母も、近所の人たちも非常に気の毒に思い、通学路には何年もの間、花が供えられていた。

8月1日が小平市小川町のお盆である。前日の夜、青梅街道沿いの家の門にはキュウリとナスでできた馬と牛にうどんを乗せたものが飾られ（うどんは馬や牛にみやげを付ける縄を表し、地元では行事にうどんを振る舞う）、そこで藁を燃やし線香に火を点けて家の仏壇に供える。亡くなられた人は牛や馬に乗って藁の明かりを頼りに家に帰ってくると教えられた。この時期になるとあの時の男の子の近くに落ちていた虫取り網と虫かごを思い出し、熱中症の怖さを再確認させられる。そして、かつての時代よりはるかに熱くなっている夏休みで、遊び方も昆虫採集のような外での遊びから、ゲームやスマホ等室内で遊ぶ時代が変わったことを分かってはいても、しばらく会わない生徒たちの無事を願ってしまう。



【熱中症にご注意を】

7月に入りWBGTが31を超える日が多くなっています。学習や運動などは朝・夕のWBGTが低い時間帯に行うと良いです。毎日1時間毎の環境省熱中症予防情報サイトで数値を確認し、31以上なら外での活動を停止してください。夏休み期間中も引き続き数値は高く、正午過ぎには31以上になる日が予測されます。外出の際にも充分気をつけて水分補給等をこまめに行い、帽子をかぶる等、熱中症にならないように予防を心掛けましょう。

安全 ~21 **警戒** 25~28 **厳重警戒** 28~31 **危険** 31~



環境省熱中症予防情報サイト

https://www.wbgt.env.go.jp/graph_ref_td.php?region=03&prefecture=44&point=44071&refId=1

夏休みの生活に向けて

自分で1つでもやり遂げられるものをつくり、成長できる夏休みにしましょう。
事故、病気がなく、健康に過ごせる生活を送りましょう。

(1) 学習について

- ①自分にあった学習計画を立てて、苦手な教科を中心に粘り強く学習に取り組みましょう。
- ②長い休みを生かし、様々な体験を通して自分の力を伸ばしましょう。
- ③落ち着いた気持ちでたくさんの本を読み、知識と心を豊かにしましょう。

(2) 健康について

- ①早寝早起きを心がけ、規則正しい生活をしましょう。
- ②体力づくりのために、積極的に身体を動かしましょう。
- ③暴飲暴食は避け、きちんとした食事をとりましょう。

(3) 生活について

- ①時間を大切にして毎日を有意義に過ごしましょう。
- ②家族の一員として、進んでお手伝いをしましょう。
- ③地域の活動に積極的に参加しましょう。
- ④物事の善悪をよく考え、責任をもって行動しましょう。
- ⑤外出時は、保護者に「行き先」「同行者」「目的」「帰宅時間」を伝えてから出かけましょう。
- ⑥交通ルールを守る。また午後11時以降の外出は補導の対象となるため絶対にしません。
- ⑦トラブル防止の観点から友だちの家に泊まりません。
- ⑧花火などで遊ぶ時には迷惑をかけないように心掛けましょう。
- ⑨図書館など公共施設を利用するときは、市民の一人としてルール・マナーを守りましょう。
- ⑩個人的な用件で他の中学校や小学校に連絡したり、直接行ったりしません。
- ⑪金銭の貸し借りをしない。また、「おごる」「おごられる」といった関係を作りません。
- ⑫SNSの利用は相手がいることを十分に考え、トラブルなど巻き込まれないよう注意しましょう。
- ⑬不審な人や車の被害に遭わないために、人通りの多い道や明るい道を通りましょう。
- ⑭トラブルに巻き込まれそうになった場合、近くにいる大人に大声で助けを求めましょう。
また、被害にあったしまった場合には必ず110番通報を行いましょう。
- ⑮夏休み期間中の事故やトラブルの被害を受けた場合は必ず学校に連絡をしましょう。

東京都いじめ相談ホットライン 0120-53-8288（東京都教育相談センター）	ヤング・テレホン・コーナー 03-3580-4970（警視庁 少年相談室）
24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310	西東京市 子供のSOSに関わる相談 0120-9109-77（西東京市子ども相談室） 042-439-0081（子ども家庭支援センターのどか）
こころの電話相談室 042-313-8119 （東京都立小児医療センター）	西東京市教育委員会 042-464-7110 あったか相談窓口（教育相談総合窓口）

※長期休業中のしおり、生徒のクラスルームにも提示されています。

西東京市と武蔵野大学との連携事業

西東京市教育委員会主催の講座で西東京市内の中学生限定のイベントです。

対象
市内在住・在学
中学生限定

武蔵野大学連携事業

西東京市

考えて、気づいて、楽しい！ 夏休み 体験講座

講座A

創造力を身につける



え、こんな教室見たことない！
この教室…わたしの知っている教室と何かが違う。そんな部分を見つけてデッサンしてみると謎が解き明かされるかも？

時間：午前10:40～午後0:20

講座B

想像力を身につける



そうか、サイエンスはアートだったんだ！
天井から振り子を吊るして砂を落としてみると…？
浮かび上がってくるものをみんなで観察してみよう！

時間：午後1:10～2:50

参加費無料

令和7年
8/8（金）
開催

定員：各回20人

会場：武蔵野大学武蔵野キャンパス
(西東京市新町一丁目1番20号)

募集期間：令和7年7月18日（金）まで

！ご注意ください！

- ・お申込みは、1人1講座のみとなります。
- ・各講座の定員を上回った場合は、抽選となります。
- ・講座の様子は、写真等で記録し、西東京市・武蔵野大学の広報、その他事業紹介資料等に掲載することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・駐車場はありません。公共交通機関または自転車でお越しください。

理科・数学・美術だいすき未来教室

主催：西東京市教育委員会（武蔵野大学連携事業）
問い合わせ：西東京市教育委員会教育部教育企画課
☎ 042-420-2822
平日 午前8時30分～午後5時



←お申し込みはこちらから

TEPROより ご案内

TEPRO Supporter Bank（以下、「人材バンク」という。）

経営理念

TEPRO は、笑顔あふれる心豊かな社会を目指し、次代を担う子供たちの学びの充実と埋蔵文化財の保護・継承に取り組みます。

そのために、様々なパートナーとの信頼の構築を事業活動の原点に据え、高度な専門性と共創力の更なる向上を図り、多様な期待に応えるサービスを提供します。

私たちの思い

- 私たちは、教職員の負担軽減と教育の質の向上による東京の教育の振興への寄与を使命としています。
- 私たちは、専門性のある人材の活用や地域の人々・団体との連携・協働により、教職員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた学校における働き方改革や多様な学びを実現していくための対応など、都内公立学校を多角的に支援していきます。
- それらの取組が子供たちの笑顔や喜びにつながるよう、学校の応援団として次代を担う子供たちの学びを支えていきます。
- 私たちは、都内における埋蔵文化財の保護による東京の文化の振興への寄与を使命としています。
- 私たちは、これまで培った専門職員の技術力と最新の知見を駆使した都内の埋蔵文化財の調査研究活動や、あらゆる世代に対する文化財保護思想の普及活動等を通じて、都民共有の文化遺産である埋蔵文化財を保護し、次世代への継承に取り組んでいきます。

TEPRO では、支援を求める都内公立学校や教育委員会へ外部人材（個人サポーター/企業・団体サポーター）を紹介しています。

令和6年度末現在個人登録者は約9,200名となっていますが、実際に学校でボランティア等の活動に従事しているサポーターは約1,700名であり、まだまだ学校で活動ができる方を確保することが必要です。

そこで、今回の学校だよりで人材バンクのバナーを貼付し、保護者の皆様等にも人材バンクについて知っていただくとともに、人材バンクへの登録をしていただければと考えております。普段から学校の大変さを間近で見ている保護者の方だからこそ、サポーターとなり、学校の助けになることが期待されます。

※下記に、貼付用バナーを用意いたしましたので、人材バンクのご登録をお待ちしております。

QRコードを読み込むとTEPROのHPのサポーター募集概要ページに繋がります。

TEPRO Supporter Bank ティープロ・サポーターバンク

詳細
・
ご登録



学校現場であなたの力、生かしませんか？

エデュケー
ション・
アシスタント

学習支援

特別支援
教育の支援

部活動支援

教職員の
事務支援



日本語指導
の支援

ICTの支援

など

TEPRO サポーター登録

- 登録料・紹介料無料
- 丁寧にサポートします

お気軽にお問い合わせください。

TEPRO サポーターバンク
0120-389-055（平日9時～17時）

公益財団法人
東京都教育支援機構
TEPRO Tokyo Education Promotion and Support Organization